

第 42 回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」議事録概要

◇日時：2023 年 7 月 19 日（水）15:00-16:45

◇場所：Webex 会議

◇出席者（敬称略）：

（委員長）宮野

（副委員長）関村

（欠席：岡本）

（幹事）浅沼、阿部、鈴木、高田(孝)、高田(毅)、柳原、吉見

（欠席：早瀬、藤田）

（委員）石田、山内、出光、内田、越塚、加治、渡邊、佐々木、奈良林、竹田、成宮

安部、矢板、江藤、中野、可児（運営タスク）

（欠席：安部田、小西、高木、大隅、瀧口、山本、川原）

（オブザーバー）堤、佐藤、星野（エネ庁）、舟木（JAEA）、長谷部（化学工学会）、

新堀（学会会長）、川村（学会前会長）、後藤（学会理事）、

中島、堀池（学会元会長）富田（学会事務局）

小畑（シンポジウム準備会）、和田（FP 挙動研究専門委員会）

◇議事

0. 委員長挨拶

宮野委員長より開会の挨拶があった。

1. 前回第 41 回廃炉検討委員会議事録および議事概要の確認

前回第 41 回廃炉検討委員会議事録案および議事概要案を確認した。

2. 廃炉委の運営

(1) 委員リスト

(i) 廃炉委：委員リストを確認した。オブザーバー(エネ庁、学会理事)の交代について説明があった。

(ii) 分科会：委員リストを確認した。委員の交代および所属の変更について紹介があった。

(2) 2022 年度活動報告書案

2022 年度活動報告書案について、2022 年度の主な活動と、分科会の活動の要点をまとめたことが紹介された。

(3) 廃炉関連施設視察検討状況

今年度は視察を実施予定であり、日程が決まったら改めて連絡するので参加をご検討いただきたいとの説明があった。

(4) 廃炉貢献賞の募集

2023 年度廃炉貢献賞の募集について説明があった。前年度との変更点として、年齢制限の撤廃と募集案内の展開先の拡大が提案された。年齢制限の撤廃に関しては、若手(40 歳以下)の受賞者には「奨励賞」を授与することが提案された。議論の結果、提案内容は承認された。

(5) その他連絡事項

9/9 開催予定の NDF 技術戦略ワークショップについて紹介があった。

3. シンポジウム・企画セッション

(1) 廃炉委シンポジウム (8/12) 計画

8/12に東大・武田先端知ホールで開催予定の廃炉委シンポジウム「1F 廃炉で発生する放射性廃棄物の取扱い - 保管の在り方・必要なことは何か」について、計画と準備状況について説明があった。シンポジウムは講演1件とパネルディスカッション(学生・報道関係を含めた10名程度のパネリストが参加予定)を実施すること、パネリストや会場参加者と意見交換を行い、論点や課題を今後の学会活動にフィードバックすることが説明された。

(2) 秋の大会企画セッション(9/8)計画

原子力学会 2023 秋の大会での企画セッションの計画について、日程が9/8(金)に確定したことが説明された。

(3) FDR2024 準備について

FDR2024の準備状況について、第1回実行委員会が開催され、会期(2024/10/10~13)、実行委員会メンバー、トラック構成などについて議論したこと、トラック構成を前回(FDR2022)の5トラックから4トラックに(シビアアクシデントとデブリのテーマを1トラックに変更)変更したことが紹介された。

4. 分科会の活動状況

(1) 強度基準検討分科会 検討状況と課題・展望

強度基準検討分科会の活動内容として、分科会が持つ問題意識、課題、目標、およびこれまでの検討内容について報告があった。分科会の目標である「機能確保の確認に関する考え方の策定」と「1Fに適した強度評価方法の検討」に関するこれまでの検討結果と、今後の予定として、他分科会や学協会とも連携し、構造物・機器単体のみでなくシステム全体の機能維持に関して適切な基準の考え方を提言していくとの説明があり、質疑が行われた。

(2) 分科会活動状況

建屋の構造性能検討分科会、ロボット分科会、廃棄物検討分科会、強度基準検討分科会より活動状況の報告があった。

5. 関係機関からの話題提供

(1) FP 挙動専門委員会活動状況

FP 挙動研究専門委員会の活動状況として、2022 年度までの活動内容のまとめと今後の進め方、原子力学会誌での報告記事について紹介があった。

6. その他

(1) 次回の日程

・9/20(水) 15:30-17:30 を候補とする。

以上